

令和2年度 富士市障害者自立支援協議会活動報告

事務局

今年度から新たな部会や連絡会が加わり、部会・連絡会がそれぞれの役割で活動できる体制でスタートしました。しかし、コロナウイルス感染症の影響で思うように活動できませんでした。そのような中でも今できることは何かを話し合い、規模を縮小しながら活動してきました。今回、皆さまやスタッフの健康・安全を第一に考え、集会では開催せず、リニューアルしたウェブサイトで一年間の報告をさせていただきますこととしました。これからもこのウェブサイトを活用し、当協議会の活動状況や情報など皆さまに届けていきます。

【事務局会議】

- 4月8日 (臨時会議)
- 4月16日 (縮小会議)
- 5月21日 (書面会議)
- 6月18日
- 7月16日
- 8月20日
- 9月17日 (通常会議)
- 10月15日
- 11月19日
- 12月17日
- 1月21日

【全体会議】

- 6月4日 (中止)
- 10月6日 (協議会だより発行)
- 【代表者会議】
- 5月15日 (書面会議)
- 【推進会議】
- 7月27日
- 8月18日
- 9月28日



↑ 今年度の事務局メンバー

社会参加部会

目標：障害者が地域で望む生活を営むことができるよう、当事者が障害種別を越えた情報交換をするための交流会や市民への啓発活動、勉強会の企画・運営を行う。

～開催状況～

運営会議 事務局終了後に開催 (9月17日・11月19日)

6月28日 福祉団体スポーツレクリエーション

9月 バスの日イベント・UDタクシーとの意見交換会

11月 ふじ Bousai2020

12月 富士急バスとの意見交換会

3月 障害当事者講演会 (来年度に開催する予定)

※コロナウイルスの影響で令和2年度のイベントは全て中止となっております。



研修部会

★今年度は新型コロナの影響で研修を2つに絞って開催しました。★

10月2日(金)「障害特性の理解～発達障害児の関わり方のヒント」

講師：神奈川県立福祉大学院 教授 笹田 哲氏

★参加者の声★

- ・様々な視点から原因を探ることの大切さを感じた。
- ・小さな「できない」が「やりたくない」に繋がっているという言葉にハッとさせられた。
- ・えんぴつ体操さっそく取り入れます！
- ・子どもたちの見方や支援の取り組み方を変えられそう。



11月27日(金)「記録の書き方・活かし方」

講師：静岡県立吉原林間学園 榎山課長 押尾班長

★参加者からの声★

- ・書き方など特別に教えてもらう事が無かったので大変勉強になった。
- ・「客観的事実」と「主観」の区別について具体的な表現をあげてくれたのでわかりやすかった。
- ・記録があることで子どもへの対応を統一できるということがよくわかり、記録をとるだけでなく共有することの大切さがわかった。

こども部会

★今年度より新設された部会です！

目的：富士市に暮らす子ども達等が、それぞれの個性に応じて健やかに成長できるよう、また、安心して生活のできる地域づくりのため、こどもに係る地域の現状や課題について協議を行います。

●運営会議●

★今年度より新設された部会です！

そのため今年度は部会の基礎作りの一年としました。

4月8日 運営会議 こども部会ができた経緯について確認し、

今年度の活動とコアメンバーについて話し合いました。

8月26日 準備会議 こども支援連絡会の会長さんと連携につ

いて話し合いました。

11月5日 運営会議 こども支援連絡会のみなさまに参加して

頂き、今後の連携等について語り合いました。

1月12日 運営会議 課題について、来年度について話し合いました。



今年度は、未成年（触法・虞犯少年）の課題についてのプロジェクトチームにも参加させて頂きました。まだまだ活動を始めたばかりの部会ですが、出来ることから一歩ずつ頑張っていけます。

ちいきせいかつぶかい 地域生活部会

★今年度より新設された部会です！

目的：障害者が自分らしく地域で安定した生活を送るために、地域全体で支える地域づくりができるよう、
実情の情報交換や課題の協議を行う



●活動内容●

【準備会・運営会議】5/27, 8/7, 9/30, 11/9, 1/12

部会の目的、構成員の検討、活動の方向性と計画

日中活動支援連絡会（仮）立ち上げの企画

【企画開催】1/12 13:30~15:30

生活介護事業所情報交換会（交流会）

富士市内の7つの生活介護事業所が参加（敬称略 順不同）

・ひかりの丘・メルシー・すまいるはあーと・ふじあざみ・きぼうの里・
らいと・オーブンスペース笑居笑居

※コロナ禍において、事業所内で工夫していることや気づき等、情報共有した。また普段の支援の中での困りごとも共有でき、皆さん活発な

発言があり有意義な時間であった。またこのような場を設けてほしいと参加者全員から合意を得たので、
来年度も連絡会立ち上げ企画を継続していく。

しゅうろうぶかい 就労部会

★今年度より新設された部会です！

目的：障害があってもいきいきと働き、生活し続けることができる地域を自指し、就労等に係る現状や課題
について市内の事業所や支援機関等が集まり、定期的に話し合います。

●運営会議（うんえいかいぎ）●

★基本偶数月 第3月曜日に開催。

第1回 8月17日 今年度の活動計画と就労連絡会について検討

結果：就労連絡会は新型コロナウイルス感染予防のため、集合しての実施を中止。今後の活動につながるよう、就労継続支援B型を対象としてアンケートを実施することとなった。

第2回 10月12日 マニュアルの内容確認と就労継続支援B型向けアンケートの内容を検討

結果：アンケートは11月30日締め切りとする。

第3回 12月14日 市内全26カ所の就労継続支援B型よりアンケート回収ができ、集計方法について検討

結果：1月中に集計を済ませ、2月にアンケート結果を公表できるようにする。

第4回 2月8日 開催予定。来年度の計画について検討。

※就労継続支援B型事業所へのアンケートは協議会ホームページにアップ予定。



●参加メンバー紹介 ● ※敬称略 順不同

- ①NPO法人オールしずおかベストコミュニティ
- ②しずおか障害者就労支援ネットワーク・富士
- ③富士市障害者就労機能パワーアップ事業
- ④富士市障害者就業・生活支援センター
チャレンジ
- ⑤富士特別支援学校 ⑥富士山ドリームビレッジ
- ⑦夢の杜 ⑧市民ふれあいばんく ⑨ひめな
- ⑩くぬぎの里（事務局 長） ⑪ほっと（部会長）
- ⑫せふりー（副部会長） ⑬障害福祉課（庶務）

きよたく れんらくかい 居宅サービス連絡会

さんか 参加メンバー

◎市内居宅介護事業所17事業所

◎富士市障害福祉課

さくねんど ぜんたいけんしゅう ぎょうす
昨年度の全体研修の様子



れんらくかい ～連絡会～

きほんきすうつき だい3すいようび かいさい
基本奇数月 第3水曜日開催。

だい1かい 「5がつ20にち」> しんがた かんせんかくだい ため ちゅうし
第1回〈5月20日〉新型コロナウイルス感染拡大の為、中止。

だい2かい 「7つき15にち」> しんがた かんするだいろうなど
第2回〈7月15日〉新型コロナウイルスに関する対応等の

いけんこうかん とうこうえんご かん かだい けんどう けんしゅうかい
意見交換。同行援護に関しての、課題の検討。研修会の、
研修内容の検討。

だい3かい 「9がつ16にち」> けんしゅうないよう けんどう さいがいじ たいおう
第3回〈9月16日〉研修会の、研修内容の検討。災害時の対応、

かじしえん かん かだい けんどう
家事支援に関しての、課題の検討。

だい4かい 「11がつ18にち」> ぼうさいたいさく けんしゅう
第4回〈11月18日〉「防災対策」についての研修。

※全体研修中止の為、連絡会内での研修に変更。

ふじしぼうさいきまかたりかたんとしゅう こうぎ さいがいじ たいおう
・富士市防災危機管理課担当者からの講義。災害時の対応などについて
の意見交換。

だい5かい 「1がつ20にち」> しんがた かんせんかくだい ため ちゅうし
第5回〈1月20日〉新型コロナウイルス感染拡大の為、中止。

だい6かい <2がつ17にち予定> こんねんど ほんせい らいねんど けいかく
第6回〈2月17日予定〉今年度の反省。来年度の計画。



こんねんど は、コロナ渦の中、全てにおいて難しい年でした。

その中で、連絡会を通じ、必要な情報の交換や、苦しい状況を共有

できたことにより、横の繋がりが一段と増したと実感出来た年となりました。



れんらくかい グループホーム連絡会

ちくてき グループホーム事業所間の繋がりを大事にし、情報共有の場としていきます。

(れんらくかい かつどう) 【連絡会の活動】

だいいっかい れんらくかい 第一回 連絡会

(R2.9.15)

- ・グループホームの役割、拠点について(行政より)
1. 地域生活支援拠点等の整備 2. 整備の類型 3. 必要な機能 4. 課題
- ・グループワーク…行政の話聞いて/業所内の課題
/連絡会でやりたい事



だいにかい れんらくかい 第二回 連絡会

(R2.11.17)

- ・グループホーム事業所のガイドブック作成について…現在、紹介冊子がないため今後作成していきたい
- ・グループワーク…1. 項目 2. 作成方法 の検討

だいまいかい れんらくかい 第三回 連絡会

(R3.1.19) しんがた じょうきょう らいねんど かいさい みあ
新型コロナウイルスの状況を踏まえ開催を見合わせ

だいよんかい れんらくかい 第四回 連絡会

(R3.3.16) 予定

きつしきくせい やくわりばんたん き
冊子作成について、役割分担を決めグループ分けをする
らいねんどちゅう きつし かんせい はな あ
来年度中に冊子を完成させるための話し合い



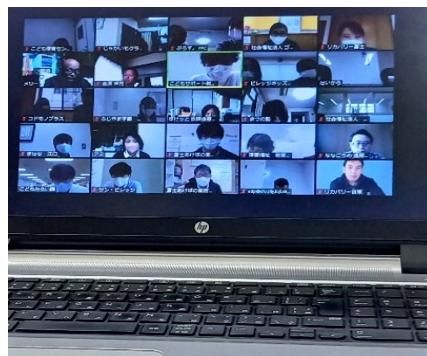
目標

れんらくかい こども連絡会

「変化」と「繋がる力」を感じた1年でした。

私達は、コロナ禍だからこそ、活動を止めません。

形を変えながら、やれる分だけ、前進していきます。



やく40の構成員でオンライン会議にも挑戦!

【目的】

- ① 関係機関が連携し易くする
- ② サービス等の情報が周知され、選択し易くする
- ③ 地域の課題を抽出する
- ④ 支援者の支援力を向上させる

【活動報告】それぞれの目的に対応したワーキンググループより

① 地域連携WG

→顔を合わせにくい中での連携を考え、事業所間で“情報を共有する”ことをきっかけにその繋がりを保ちました。コロナ禍での苦労や工夫に加え「皆で乗り切ろう」という気持ちの共有が最大の効果です。

② 広報WG

→事業所情報を掲載した『事業所あない冊子』の内容を更新しました。皆様のご協力を得て、現在も多くの方の手に行き届いている様です。未就学児の通う『みはら園』さんにもご協力頂き、施設内に事業所情報を掲示して頂きました。密を避けながらの御対応ありがとうございました。

③ 地域課題WG

→地域に「どんなニーズがあるのか」「どんな活動が望まれているのか」を知る為に、現在、様々な立場の方を対象にアンケートを実施しております。それぞれ見えているもの、感じているものが違いますので、たくさんの方の声を傾けていきます。

④ スキルアップWG

→集まる形式が望めない中、どのような方法で研修等を企画していくか模索しています。現在、オンライン形式での挑戦も検討しています。

しょうがいしゃしゅうかんきねんじぎょう 障害者週間記念事業

○企画内容 工作ワークショップ「まわるお花とちょうちょうを作ろう」（親子参加）

（静岡県障害者芸術祭のシンボルイベントのひとつとして、

企画当初から今年度は『アート』をテーマにした企画を開催する予定でした）

○開催日時・場所 令和2年12月5日（土）10:00～12:00 ＊30分枠4部構成

ロゼシアター4階第2会議室

○定員 各部7組

○実行委員会 ・実行委員長 富士市自立支援協議会 会長

・事務局 富士市自立支援協議会 事務局

・実行委員 アトリエパセリ あしざわまさひと氏

富士市自立支援協議会 富士市役所 障害福祉課

・協力団体 富士市手をつなぐ育成会 富士ぼどうの会

富士市重症心身障がい児者親の会 はなみずき

静岡県LD等発達障がい児者親の会 きんもくせい

○当日の様子 ・当日の来場者数 36名

・内容 工作の制作

作品展示

啓発物配布

・成果 今回、コロナ禍という状況で心配もありましたが、皆さまのおかげで無事開催する

ことができました。当日は、親子及びガールスカウトの方が参加してくれました。

作るだけでなく、遊ぶこともできる工作だったので参加してくれた人達も満足そうでした。

また、今回の企画を通して障がい児・者への理解啓発に繋がりました。



みなで お花を回しています



各部署ごとに全員で記念撮影



いろとりどりのお花とちょうちょう

○令和3年度 富士市障害者週間記念事業の企画案を公募しました。